

**事例2** 一人一人のよさを活かしたり、自己肯定感を高めたりするための工夫について  
～きらきら♡みつけたよ～ (方法①⑤)

<幼児の実態>

・小規模園で、各クラスの人数も少なく、友達関係が固定しやすい。また、活動に取り組むときには、「できないかもしれない」と自信をもてない様子がある。

<保育者の願い>

・一人一人のよさをクラスで紹介することにより、“こんなことができるよ”と自分の力やよさに気付いたり、“友達ってすごいな”と友達のことを認めるきっかけにつなげたりする機会にしたい。また、保護者からも子ども達の素敵な姿を具体的にメッセージにして伝えてもらうことで、“自分っていいな”とほめられるうれしさを感じてほしい。

“きらきら♡がたくさんになったね”

一人一人のよいところ、がんばっているところ、素敵なおところなどを職員がハートのカードに書いて渡す



ハートのカードは自分で好きなところに貼ります



ハートのカードが増えてきて「たくさんになったね」と子ども達は喜んでいきます

あいさつが大きな声で  
言えるようになったね

りれーのとき、ころ  
んでもすぐにおき  
てはりましたね

おかたづけをさいご  
まで、がんばったね

ちゅうりっぷぐみ  
さんにやさしくで  
きましたね

<お家の人からのメッセージ>

保護者の方に行事の後、子どもさんの素敵な姿をハートのカードに書いてもらう。  
一人一人のメッセージをクラスの全員に紹介し、いつも目にするところに貼る。



コメントを一部紹介します

<6月4日 節句会>

保護者の前で、歌や踊りなどを披露しました。

うたったり、おどったり  
じょうずにできたね。また  
ひとつ“できる”がふえ  
たね

いっしょうけんめいがんばるすがた  
がとってもかわいかったです。  
キラキラかがやいてみえたよ

<10月4日 運動会>

いろいろな競技に力いっぱい取  
り組みました。

一生懸命走ったり、踊った  
り、お手伝いをしたり…頑張  
る姿がすてきだったよ

がんばってはしつていてかっこよ  
かったよ。がんばれーとおうえんす  
るところもすてきでした

<11月9日 遊び展>

作品を保護者の方に見てもらいました。

〇〇のすてきなさくひんをみることが  
できてうれしかったよ。  
にがてだったさくひんづくりもえ  
かくこともとってもじょう  
ずになったね。

〇〇ちゃんらしさがいっぱい  
の素敵な作品だったね。一緒  
に見ることができてうれし  
かったよ

<2月14日 みんなで楽しく生活発表会>

一人一人が自分の力を発揮して発表しました。

生活発表会

とってもかわいくて感動しました。歌もおどりも演奏も竹馬も全部とっても上手です。すごかったですよ。頑張って練習してくれてありがとう。超キラキラでした。

みんなと一緒に

楽しそうに兄弟すずめをしているところがかわいらしかったです。ハンドベルや手話も8人が1つになっていてとてもすごかったです。

<考察>

保育者が、子どものよいところを見つけて、クラス全体で紹介し、友達に認めてもらうことで、“自分にはこんなよいところがある”と自信となり、それが自分らしさを発揮することになり、成長につながっているように思う。子どもにとって、ほめられる、認められるということは、自尊感情を高めていく上で、欠かせないことである。また、保育者の子どもを多面的に捉えることにもつながっていくと思った。

保護者からの温かいメッセージは、子ども達の心に響き、安心感、信頼感、自己肯定感といった感情が育ち、感情をコントロールする力や他者への優しさを養うことにつながっていくと思う。具体的な言葉でほめられることで、どこが素敵だったのかが子ども達によくわかり、次へのステップにもつながるのではないかと考える。今後も続けていきたい。